

## 第2学年 地理歴史科（日本史B）学習指導案

指導日時：平成28年10月11日（火）第6校時

指導学級：第2学年4組（男18名，女23名）

指導者：宮城県石巻西高等学校教諭 千葉真稔

### 1 単元名 1. 院政と平氏の台頭（『詳説日本史B』山川出版社）

### 2 単元の目標

学習指導要領では日本史Bの目標は次のように規定されている。

「我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。」

上記目標から①「我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ」、②「我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって」、③「歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う」という3つの観点で捉えられる。この3つの観点を単元の中で以下のように位置付けたい。

- ①「我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ」では指導に当たって、同じ地理歴史科の世界史や地理との関連を一層重視して、我が国の原始・古代から現代に至る歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて、政治、経済、社会、文化、国際環境など歴史を構成する要素を総合した幅広い見方で大きく把握させるようにする。特に宋との交流が日本の政治、経済、文化にどのような影響をもたらしたか考察させる。
- ②「我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって」では歴史の展開を大きくつかませると同時に、各時代の特色とその変遷の総合的な考察を通じて、我が国の文化がどのような特色をもち、どのような伝統が形成されてきたかについての認識を深めることを一層重視するという趣旨を述べている。特に仏教の影響やこのころ少しずつ文化の担い手となっていく武士や庶民を題材にした作品などに着目して、文化に新しい機運が生まれたこととその背景を考察させる。
- ③「歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う」では我が国の歴史を学習することによって得られる能力や態度については共通の目標を設定しているのである。諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によってとらえる歴史的な見方や考え方を身に付け、歴史的な思考力の育成を図るとともに、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養うことが、この科目の最終的なねらいであることを示している。特に寺社・公家・武家が権力を分有する多様性や地域的差異に基づき、中世国家がどのようなものであるかという観点から考えさせる。

以上①～③の観点を踏まえた授業展開を目指し、日本史の授業を通して「主体的に生きる日本国民」を育成していくことが最終的な目標と考えられる。

### 3 指導にあたって

#### (1) 単元について

藤原氏による摂関政治が終わりを迎え、即位したのが後三条天皇であった。後三条天皇は親政を行い、藤原氏の権力を抑制し天皇への権力集中を進めた。次の白河天皇は自ら上皇となることで再び、摂関政治が行われることを防ぐとともに、院政への道を開いた。院政が行われると徐々に力をつけてきたのが武士であった。これまでも源氏や平氏が地方で活躍していたが、院政期には北面の武士として、また僧兵への対抗の必要性から中央での活躍の場が広がり、権力者との結びつきを強め、後の武家社会成立のきっかけを作った。

#### (2) 生徒の実態

先日学級で実施したアンケートでは以下のような結果が出た。

日本史のイメージについて	A. 暗記科目 : 40人	B. 暗記科目ではない : 1人	
ペアワーク・グループ学習が好きか	A. 好き : 7人	B. ふつう : 25人	C. 嫌い 9人

ここからわかることは生徒にとってやはり日本史は「暗記科目である」ということである。生徒にとって日本史とは出来事や人物を出てきた順番に正しく暗記する京香だと認識しているようである。また、1年次からペアワークやグループ学習を行ってきたにも関わらず「嫌い」が「好き」を上回っている。

#### (3) 指導について

今回の指導案では、日本史は「暗記科目である」という偏見を打破するために資料の読み取りを行った後、生徒同士の意見交換を通して歴史の学習でも思考が大切であることを学ばせたい。そのために今回、ジグソー法を用いて生徒同士の意見交換を活発化させようと考えている。また、ペアワークやグループ学習をあまり好きではない生徒にもジグソー法を通して、グループでの活動にも違和感なく取り組めるようにしたい。その結果、生徒が自分の意見の成長を実感し、他者の意見や考えを取り入れることでよりよい表現ができることを実感させたい。

### 4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
中世国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	中世国家と社会や文化の特色から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世国家と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	中世国家と社会や文化の特色についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

#### 学習活動における具体的評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用	知識・理解
・歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究して	・歴史的事象の推移や変化、相因果関係を多面的・多角的に考察し、歴史の展開における諸事	・歴史資料を含む諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまと	・歴史の展開における諸事象の意味や意義を理解し、その知識を身に付けている。

<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中世国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。</li> <li>・中世国家と社会文化の特色について意欲的に追究している。</li> </ul>	<p>象の意味や意義を解釈して、その過程や結果を適切に表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、宋・元などとの関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> </ul>	<p>めたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中世国家と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。</li> <li>・中世国家と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表にまとめたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、宋・元などとの関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</li> <li>・中世社会の多様な展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</li> </ul>
---	--	--	---

## 5 単元の指導と評価の計画

	学習内容	学習活動における主な具体的評価規準	評価方法
第1時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延久の荘園整理令と荘園公領制</li> <li>・院政の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後三条天皇の政策と摂関政治のかかわりを考察し、その過程や結果を適切に表現している。(思考・判断・表現)</li> <li>・院政の仕組みを理解し、その知識を身に付けている。(知識・理解)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業プリント(知識・理解)</li> <li>・ワークシート(思考・判断・表現)</li> </ul>
第2時	院政期の社会、保元・平治の乱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武士の台頭の様子を院政期の社会の様子から考察し、その過程や経過を適切に表現している。(思考・判断・表現)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート(思考・判断・表現)</li> </ul>
第3時 (本時)	平氏政権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平氏政権の武士的性格と貴族的性格、日宋貿易による国際的な性格を諸資料を収集し、有用な情報を読み取っている。(資料活用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート(思考・判断・表現)(資料活用)</li> </ul>
第4時	院政期の文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院政期の社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表にまとめたりしている。(資料活用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート(思考・判断・表現)</li> </ul>

## 6 本時の指導

### (1) 題材名 「平氏政権」

### (2) 本時のねらい

- ①平氏政権が貴族的性格と武士的性格を持つことを諸資料を用いて理解させる。
- ②日宋貿易を行うなど平氏政権の国際的な性格を理解させる。

### (3) 本時の評価規準

評価の観点	具体的評価規準	評価をAとする具体的な姿
思考・判断・表現	平氏政権の性格を多面的・多角的に考察しようとしている。	平氏政権の性格を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用	平氏政権の性格を資料を用いて読み取っている。	平氏政権の性格を資料を用いて読み取り、適切に表現している。

### (4) 学習指導上の工夫

- ・ジグソー法を用いて、生徒同士で情報を交換しながら、考えをまとめ、自らの考えの成長を実感させる。

### (5) 準備物

- ・教科書（『詳説 日本史B』山川出版社）
- ・図説（『新詳 日本史』浜島書店）
- ・自作プリント

### (6) 本時の展開

段階	学習活動と 主な発問	形態	指導上の留意点	評価規準
導入 7分	1. 前時の復習 2. 本時の学習目標の確認	一斉	・時間をあまりとられないように簡単に復習する。	
「平氏政権にはどのような特徴があるだろうか」				
展開 3分	3. 生徒の知識の意識化	個別	・中学生の時に習ったことを思い出しながら書くように指導する。	
10分	4. エキスパート活動 A. 武士的性格 B. 貴族的性格 C. 国際的性格	個別 グループ	・個別の読み取りの際は机間巡視をしながら史料の読み取りを促す。 ・グループ活動では個別の読み取りを書いたプリントを見せるのではなく、口頭で説明するよう促す。 ・各自の読み取りからグループの意見をまとめさせる。	・史料から内容を読み取ろうとしているか。【資料活用】 ・読み取った内容を文章化できているか。【資料活用】

10分	5. ジグソー活動	グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自がまとめたエキスパート史料から読み取った内容を口頭で説明させる。</li> <li>・3名の説明が終わったのちに各自の持つエキスパート資料を見せ合いながらグループとしての意見をまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭での説明を聞いて理解しようとしているか。【思考・判断・表現】</li> <li>・グループとしての意見をまとめるために協力しているか。【思考・判断・表現】</li> </ul>
15分	6. クロストーク	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各班の発表をメモを取りながら聞くように促す。</li> <li>・教員は各班の意見の要点を復唱し、メモを取りやすくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりメモをとれているか。【思考・判断・表現】</li> </ul>
まとめ 5分	7. 生徒の個別意見のまとめ直し	個別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に作った意見から成長していることを説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見を他人の意見を踏まえたうえで、まとめ直しているか。【資料活用】</li> </ul>

(7) ワークシート 別紙

(8) 板書計画

ワークシートを中心に行うため、板書は特別に行わない。